平成26年度

景観・まちづくり大学 夏季

参加申込方法

❶セミナー名　❷開催日　❸氏名(ふりがな)　❹電話番号

参加費無料

以上を明記の上、電話・FAX・E-mailにて京都市景観・まちづくりセンターまでお申込みください。

※取得した個人情報は、セミナーの申込み、各種セミナー案内等の送付の目的以外には利用しません。

京町家再生セミナー

＊京町家居住者や京町家所有者、京町家に関心のある方が対象です。

京町家の"最初の一歩"としての基本講座です。京町家に関する基本を、さまざまな視点から学びます。京町家のつくりや暮らしやすくするための工夫、貸し借りに関すること等、身近な存在としての京町家の姿を知り、再生の方法を学びます。

見学会 京町家に移り住んで～伊藤邸の夏のしつらえ～

＊京町家所有者・居住者向け　定員15名(先着順)

話し手　伊藤 正人氏(京町家所有者)
コーディネーター　朝倉 眞一氏(まちひろば計画工房)
日時　7月26日(土) 14:00–16:00
(集合時間 13:50)
申込期限　7月22日(火)
会場　伊藤邸(京都市南区四ツ塚町)

京町家まちづくりファンドを活用して自宅町家(昭和初期建築)を改修された伊藤邸を見学させていただきます。夏のしつらえや季節に応じた床の間飾り、新緑から紅葉まで美しい表情を見せる庭など、季節ごとに町家の暮らしは変化を感じさせてくれます。
みなさんで、町家の暮らしの魅力、四季の暮らしの楽しみ方などに触れてみたいと思います。
＊参加申込時に詳細な会場案内をさせていただきます。

税金 町家の税金のこと教えます！

定員50名(先着順)

講師　辻本 尚子氏
(株式会社みやこ不動産鑑定所 代表取締役
税理士、不動産鑑定士)
日時　8月21日(木) 19:00–21:00
会場　京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

親の町家を相続したが相続税がかからないか心配だ。空き家にしている町家を貸したいが経理や税金のことを考えると面倒だ。町家に住みたいのだけれど不動産を買ったら税金が要るの？等々、税金の事が分からなくて困っていませんか？
正しい税務知識を身につけて町家の保全と活用に役立てましょう。税の仕組みについて易しく学びます。

相続 京町家と相続

定員50名(先着順)

講師　内藤 卓氏
(はるかぜ総合司法書士事務所 代表
司法書士)
日時　8月27日(水) 19:00–21:00
会場　京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

京町家の所有者の方が亡くなって，しばらくすると建物が取り壊され，跡地が駐車場になったり，マンションが建設されたり，という光景をよく目にします。遺言等による所有者の遺志が残されておらず，相続人が単なる不動産として処分してしまうからです。
京町家を承継していくには・・・相続の観点から考えます。

流通 町家探しの心得イロハ

定員50名(先着順)

講師　井上 信行氏
(NPO法人京町家・風の会 代表
宅地建物取引業主任者)
日時　9月13日(土) 14:00–16:00
会場　京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム
共催　NPO法人京町家・風の会

町家を買うにせよ借りるにせよ、町家を探すときに、最も重要で忘れてはならないことは、単なる探し方の手順や物件の流通状況の知識を得るということではなく、京都のまちや京都人の生活文化についてよく知ることです。
家選びは、「まち選び」。京都人のわたくしがたくさんの事例を交えつつ詳しくお話しします。

契約 京町家の売買・賃貸契約と注意点

定員50名(先着順)

講師　苗村 豊史氏(有限会社みのり住建 代表取締役
京町家専門相談員)
日時　9月24日(水) 18:30–20:30
会場　京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

京町家は、居住・活用されてこそ価値のあるものです。
京町家の保全・再生と空き家解消の一助になる事を願い、本回では京町家の売買と賃貸の契約上の注意点について分かりやすくお話をします。
京町家を売りたい方、買いたい方、貸したい方、借りたい方、いずれをお考えの方にも参考にして頂ける内容です。
また、京町家の利活用事例についてもお話しますので、お気軽にご参加ください。

京のまちづくり史セミナー

＊京都の都市の変遷や、
まちづくり活動の歴史に関心のある市民の方が対象です。

都市史の中でも、特に住民の自立した活動としてのまちづくりの変遷を学ぶ講座です。京都のまちの本来の個性や魅力について今一度振り返り、京都における今後のまちづくりのあり方を考えます。

概論（近代） 京都復興の展開：明治期の首長は地域とどう向き合ったのか

定員50名（先着順）

講師 中川 理氏（京都工芸繊維大学大学院教授）
日時 7月16日（水） 19:00–21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

明治の遷都によって、京都は首都の地位を失い停滞の時代を迎えたといわれます。そこからいかに京都は復興したのでしょうか。今回は、首長、議会、町衆が互いにいかなる交渉をしながら京都復興に取り組んでいったかに焦点を当てます。京都復興を題材に、伝統と近代をいかに調和させるか、現代にも通じるまちづくりの基本テーマを考えます。

<基本> 山並み景観 近代京都と東山：生活行為がつくる景観から都市計画がつくる景観へ

定員50名（先着順）

講師 中嶋 節子氏（京都大学大学院准教授）
日時 7月30日（水） 19:00–21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

京都の山並みを代表する東山。近世、東山は肥料や燃料の供給地として、人々の生活を支えていました。近代になると、東山は明治政府による管理の対象として変化しました。今回は、京都と東山の関わり方の特徴と、その変遷を近世から現代まで丹念に追っていきます。そして、現在の東山の景観を支える都市計画や人々の取組みについて考えていきます。

<基本> 街並み景観 オランダに学ぶ近代建築の保存活用

定員50名（先着順）

講師 笠原 一人氏（京都工芸繊維大学大学院助教）
日時 9月10日（水） 19:00–21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

古い建物を保存し、街並みをよりよいものとするため、京都のみならず世界中で、建築の保存や活用に関する方法が様々に取られてきました。今回は、1988年にDOCOMOMOが設立されるなど、近代建築の保存に関する先進国であるオランダにおける建築の保存と活用の様子を紹介しながら、今後京都で展開できる取組みの可能性を探ります。

まちづくり実践塾

＊これから地域まちづくりに取り組んでいきたい学生の方、地域の方、若手専門家や、
現在地域まちづくりに取り組まれている地域の方、専門家が対象です。

まちづくり活動に活用できる情報を提供する講座です。夏季は、地域まちづくりを行う上で基本となるテーマに関する実践的な知識を身に付け、現在そして今後のまちづくり活動のあり方について議論を交え考えます。

地域（文化） 地域の伝統行事とまちづくり～成逸学区の地蔵盆調査をもとに～

定員30名（先着順）

講師 石本 幸良氏（京・まち・ねっと 代表）
牧本 晴男氏（成逸学区自主防災会会長）
日時 7月25日（金） 19:00–21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

地域の伝統行事は、まちづくりにおいてどのような役割を果たしているのでしょうか。今回は、京都の夏の風物詩「地蔵盆」を取り上げます。すべての町内で地蔵盆が行われている成逸学区での調査をもとに、変化しながらも継承されてきた姿、現代の地域における伝統行事の意義を学び、今後、このような地域の文化をどう守り活かしていくかを考えます。

＊京都市でも、「地蔵盆」を"京都をつなぐ無形文化遺産"として登録を目指しています。

地域（学区の歴史） 地域が学校をつくり、学校が地域をつくる：学区による学校運営

定員30名（先着順）

講師 和崎 光太郎氏
（京都市学校歴史博物館 学芸員）
日時 8月1日（金） 19:00–21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

「学区」がつくられた明治以降、京都では学校と地域が互いに支えあう関係が築かれ、地域コミュニティの単位として認識されてきました。しかしそれゆえ、学校の統廃合等が地域社会に影響を及ぼす場面も少なくないようです。本回は、学校と地域自治の関係を振り返り、京都におけるまちづくりの今後について議論します。

地域（学区の運営） 地域まちづくりからみた「学区」とは

定員30名（先着順）

講師 田中 志敬氏
（福井大学地域共生プロジェクトセンター助教）
日時 9月3日（水） 19:00–21:00
会場 京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム

現在でも、京都のまちづくりを考える上でキーワードのひとつとなる「学区」。今それぞれの地域では、担い手の発掘や継承などの運営上の課題を抱えながらも、地域活動が行われています。京都における学区をベースとしたまちづくりの現状やその取組みのプロセスを学び、他都市の事例も交えながら持続的な地域運営のあり方等について考えます。